



waste light parade

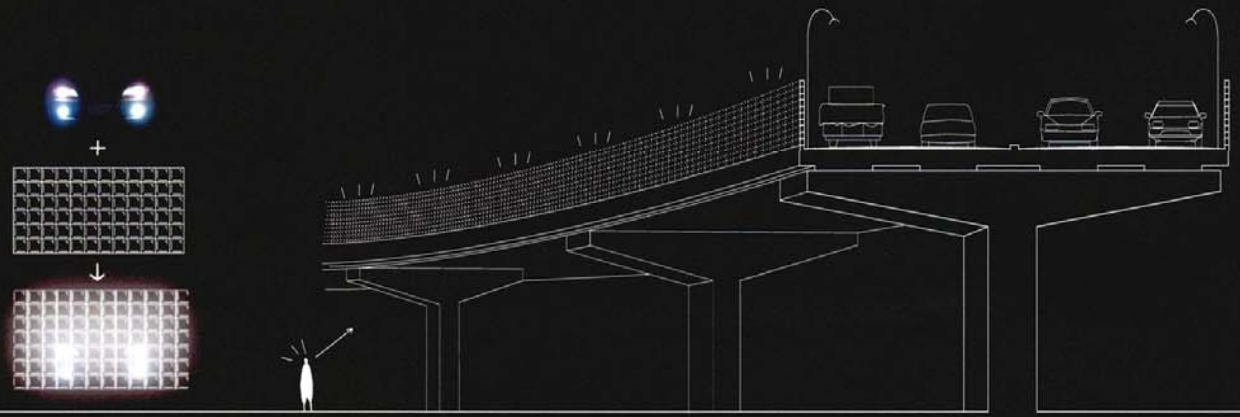
光の再利用

3.11 福島原発事故に伴う電力不足問題により、ネオンなどの街の灯りは減り、夜の街は暗くなった。
電力から新たな光を生み出すのではなく、既にある光とガラスを利用して、街に安心感を与えられないだろうか。

首都高の遮音壁をガラスブロックで作る。
遮音性を保ちながらも、車のヘッドライトがガラスブロックに反射することによって、首都高がほのかに明るく浮かび上がる。
時間、道路の混み具合、によって変化し、ゆらぐ光は、人々に安心感を与えるだろう。
昼間は、街や風景がぼんやりと見えることによって、ドライバーが少しだけ自分の居場所を確認できる。

ガラスブロックに映ったヘッドライトのやわらかい光が、街を包む。

ガラスブロックを通して流れるような光の帯が街を照らし出す



昼間は外の風景がぼんやりと見える

